

# 朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

令和2年12月25日(金)

冬休み直前号 児童数 924名

TEL:048-461-0410



【学校教育目標】 「心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成」

思いやりのある子 自ら学ぶ子 元気な子

【めざす学校像】 「学ぶ喜びと感動のある学校」

【朝霞六小の合言葉】 ～花あり 歌あり 笑顔あり～



## 苦しい時こそ、その思いを共有して

校長 木村 直美

6月に学校が再開してから、2学期の終業式を迎える現在まで、感染症拡大防止と新型コロナウイルス感染症との共存共生に明け暮れたと言っても過言ではないでしょう。学校は、できる限り通常の教育活動を展開するように努めてきました。時期を変更したり、形式や規模を工夫したりしながら、子供たちに窮屈な思いやつまらなさを感じさせないようにという思いが私たちには常にありました。その時々、保護者の皆様や地域の方々のご理解をいただきました。何度も計画を練り直したり、実地踏査を念入りにおこなったり、最少人数で準備をしたりと労を惜みず、「実施しない」「行わない」という判断ではなく、「どうすれば実施できるか」「どうすれば感染リスクを抑えて実現できるか」ということを基準に教職員一同、駆け抜けてまいりました。

私たちを支えていたものは、子供たちの笑顔です。本当に楽しそうに、嬉しそうにしている表情と歓声が、私たちの疲れを吹き飛ばしてくれました。そして、行事が終わった後、連絡帳や一筆箋に保護者の皆様の温かい労いの言葉をいただき、その一言のメッセージに込められた心遣いにジーンとしてしまいます。そして、「次も頑張ろう」と思うことができました。本当にありがとうございます。

去る12月16日、大雪によって新潟県内の関越自動車道で立ち往生が発生、2千台以上の車が巻き込まれました。除雪作業は難航し、店もトイレもない状況で、多くの人が車中で2泊することになりました。そんな中、ある運輸会社の大型トラックのドライバーが配送中のせんべいを食糧難の人たちに配ったというのです。まず製菓会社の担当が運輸会社のドライバーに「せんべいを食べていい」と指示したことが始まりです。ドライバーは自分だけではなく、みなさんに配ってよいかと聞き返し、製菓会社は快諾しました。このことは、立ち往生中、製菓会社と運輸会社の社員の機転に助けられ感激した人々の情報が一気にネット上に拡散して知られることになりました。新潟にある2つの会社の関係者は、「雪国で育った者には雪の中で助け合う思いが根付いている」と取材に答えています。困った時こそ、その思いを共有し、できることから助け合う。そんな気持ちが、コロナ禍を乗り越えようとしている子供たちにも育っていることを日々感じます。



6年 社会科見学「富岡製糸場」